

私たち一人一人は微力ではあっても無力ではない

- - - 継続は力・着実な運動を続けよう

10.06.12 近藤ゆり子

. 情勢は変わったのか？ - 1年を振り返って -

- 0 . 「愛知の会」結成への思い (2009.11)
  - ・ 設楽ダム建設反対全国集会 (新城市) にて
- 1 . 監査請求時点 (2009.3)
  - ・ 岐阜での声が本体工事を止めていた
  - 声にはならなくても導水路にネガティブな長良川の漁民の思い
  - 長良川河口堰による「痛み」を実感している長良川流域住民の声
  - 長良川市民学習会の運動
- 2 . 提訴 (2009.6) の直前・直後 ... 河村たかし氏が名古屋市長に (2009.4)
  - ・ 河村市長の「導水路撤退の意向」表明 (2009.5) - 公開討論会 (2009.8)
  - 有権者は誤りを誤りと認めないための無理・無駄な事業を望んでいない
  - 「変化」を期待している
- 3 . 「政権交代」と前原誠司・国交大臣 (2009.9 ~ )
  - ・ トップの「思い」だけでは事態は動かない 役所を動かす力はどこに (誰に) ?
  - ・ 「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」という足枷
  - 利水は「利水者の意向」、流水の正常な機能の維持は「代替案は難しい」
  - ・ 「補助ダムは別/地域主権」で満額の補助金 ... それは「地方自治の本旨」か?
- 4 . 「凍結」としながら事業は止まっていない (2009.10 ~ )
  - ・ 相変わらずついでにしている予算 = 今年度は5億円 (昨年度の執行額とほぼ同じ)
  - 愛知県も名古屋市も岐阜県もアロケーション分の負担が続く
- 5 . 木曽川フルプラン中間評価作業の開始 (2010.5)
- 6 . 菅直人新内閣の誕生 (2010.6)

< 資料 1 : 09年9月以降、木曽川水系連絡導水路建設所が発注した調査業務 >

09年 9月 2日	上流施設周辺沼沢地環境調査検討業務	一般競争	約2100万円
09年 9月 2日	放水口周辺魚類生息環境調査検討業務	一般競争	約1000万円
09年 9月 2日	放水口周辺水温解析業務	一般競争	約1060万円
10年3月18日	水質調査業務	指名競争	約310万円
10年3月29日	陸域生物調査業務	指名競争	約620万円
10年3月29日	地下水調査業務	指名競争	約1350万円
10年5月26日	水域環境調査業務	指名競争	約1020万円

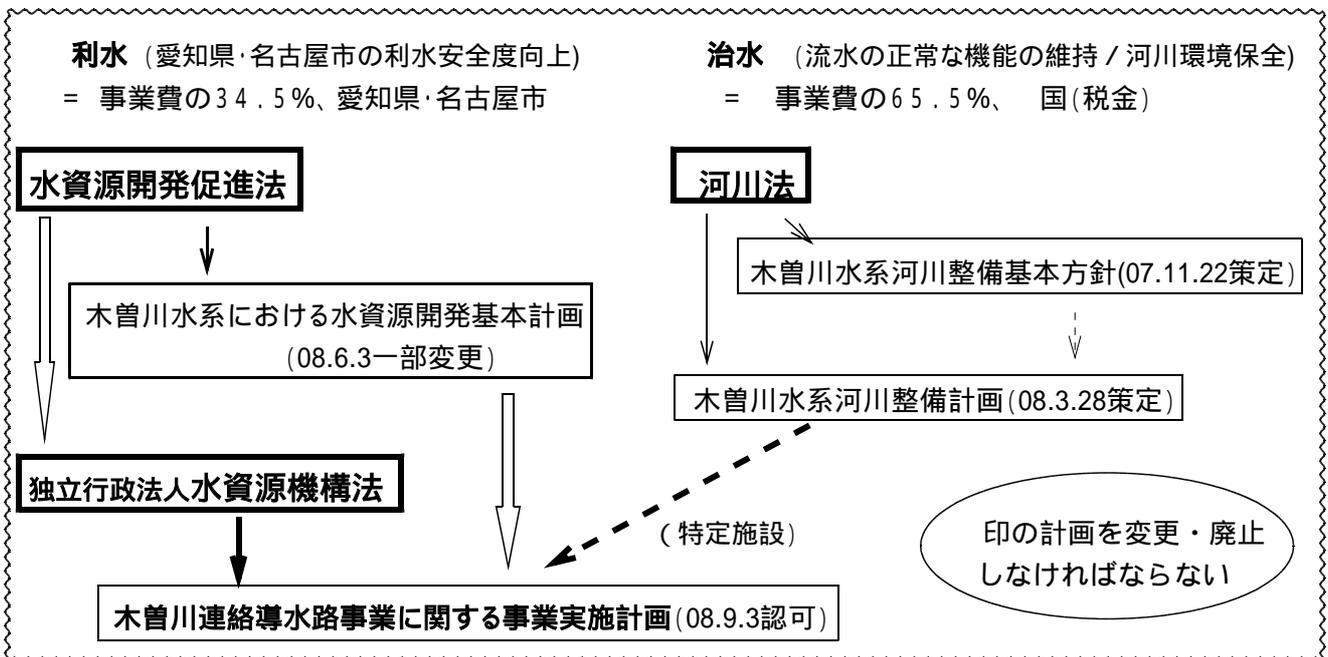
. 「(一時)凍結」と「(正式)中止」... ズルズルと予算をつけて良いのか？

- 1 . 「凍結」されても生きている
  - ・ 政権交代後のダム・ダム関連事業の「凍結」方針
  - ・ 「急速冷凍」 - 解凍すれば前に進む？
  - ・ 「新たな段階に進まない」 = 「今の段階」の範囲で最大限進める

導水路も「(本体工事ではなく)調査する」予算が5億円/年。

2. 何に縛られているか? 何を変えねばならないか?

<資料2:木曽川水系連絡導水路と諸計画>



・ 変えるためにできること・必要なこと

1. トップの「鶴の一声」に期待しすぎるな - この1年の教訓
  - ・ 河村たかし名古屋市長も前原誠司国土交通大臣も導水路事業に否定的なのは事実
  - やり方が上手くない、やるべきことが出来ていない
  - 事業を止めるのはトップの「鶴の一声」ではない
2. 政治・行政への働きかけ
3. 「裁判」のもつ意味
  - (1) 勝訴すれば止まる
  - (2) 議論の場を設定し、議論で勝つ
  - 「水問題」裁判が積み上げてきたものが河川行政を変えてきた、という実感
4. さまざまな分野・地域の人たちと連携しあう
  - ・ 市民による「豊かな海づくり大会」/ COP10市民ネット・生命流域部会
  - ・ 運動の担い手の世代交代
  - ・ 研究者・専門家との連携
5. 継続は力なり/微力を集めて
  - ・ 先人の運動・闘いが、今の地平を作り出した...「たすきをつないで」
  - 岐阜では「長良川河口堰ゲート開放」の声が普通になってきた
  - 名古屋市民の83%は「徳山ダム導水路はいらない」
  - ・ 「私たち一人一人は微力ではあっても無力ではない」
  - 微力を結集し、未来を切りひらこう!

以上